



オクソソ俱楽部



2007 Summer



世阿弥の華伝書より

今の時代なら、次の駅で降り、その車両に乗り換えて話もできたであろうに……。

そんな日、私は発見した。光の加減であろうか、向こうの窓ガラスに自分の姿が映っているのだ。それから数日後、私は私の映っている姿をスースと彼の方に寄せた。高円寺から新宿までの間、私は窓ガラスに映る姿で彼女と語り合っている。

その日も、彼女は後部の車両にいた。夕日のいたずらを期待して

映画 「ALWAYS!!」丁目の夕日」の前の話

学校法人 近畿大学
理事長 世耕 弘昭

それだけの話である。
それでも、終戦後の日本は皆、空腹であった。

私が常に思い浮かべていた言葉に「粒粒辛苦」という唐時代の詩人の一節がある。

「鋤で耕す農民の頭に炎熱の太陽が照りつける。食する器にはの

一粒一粒が、盛り上がっている。

それを人々は食べ、生きる。この一粒一粒が、汗を地上に滴らせながら作られた農民の辛苦の

結晶であると誰が知っているだ

今は飽食の時代といわれている。
この時代こそ料理人は、その食材が辿つて来た一つ一つの途を知り、これを大事にし、客をもてなすことで誇り輝き、本当の美味が心を癒すのではなかろうか。

オクソソのさらなる発展のため、この言句「粒粒辛苦」を贈りたい。

「ALWAYS!!」丁目の夕日」という映画が話題になっていた。

日本経済が隆盛になる前の東京の街に人情の味を感じるのか、その時代を懐かしむ人々が多い。

私の高校時代はそれよりも前、まだ東京の街には戦災の跡が残る昭和二十年代の後半の話である。

その頃私は、東京の新宿でJR中央線に乗つて学校に通つていた。電車は一車両ずつに分かれていって、車両と車両の間は連結器で繋がれていた。その名残は玩具の電車に

残っている。
部活動で疲れた体を、車両の一番後部の連結器が見える窓辺にもたれ掛けていると、疲れが楽になつた。連結器の揺れで体が揉まれるようで心地良かつた。夕方のやわらかい日差しが窓ガラスを透して暖かかつた。

ある日、連結された別の車両にいつも乗つて、赤い線の入ったセーラー服を着た女学生に気づいた。同時刻、いつも後部の車両に彼女の姿があつた。

そして、三十数年経つた今も、変わらない笑顔で山口社長は店のドアを開けてくれる。



プロフィール
世耕 弘昭
せこうひろあき

昭和七年八月
東京都生まれ

昭和三十年三月
現住所 奈良市学園南

平成十年九月
学校法人近畿大学理事長
平成十一年四月
私立大学通信教育協会会長
平成十七年四月
日本大学法学部法律学科卒業

現在に至る
現在に至る
現在に至る
現在に至る
現在に至る

葡 萄

ブドウ(葡萄/英Grape、学名Vitis)はブドウ科のつる性落葉果樹、原産地はカスピ海南部からペルシャとされています。

古代フランス語の(grappe/ブドウの房)から英語のグレープ(grape)になります。

ラテン語の(racemus/蔓性植物の実)が転じてフランス語のレザン(raisin)に。

イタリア語ではウヴァ(uva)。

BC5千年頃カフカス地方から地中海東部沿岸の地域でセム族はエジプト方面に、アーリヤ人によりインド方面に伝えられ、ブドウ栽培やブドウ酒造りが始まるとされます。

古代エジプト第18王朝・ナクトの墳墓壁画にはブドウ栽培からワインの仕込みまでの工程が描かれています。その後、BC2千年頃にはフェニキア人によってギリシアに栽培と醸造が伝えされました。

ブドウ酒はギリシア神話にも縁の深いものとなり、イタリア半島に伝わりギリシャ時代のイタリアはOenotria「葡萄酒の国」と呼ばれました。酒の神バッコはシシリー島産の白ワインを愛飲していた説があります。葡萄栽培はローマ人の遠征と共に西ヨーロッパへ広まりました。

旧訳聖書・創世紀の「ノアの箱舟」では洪水の時、ブドウの木が舟にのせられ、この木からワイン造りがたそうです。

中国へは、前漢・武帝の頃、西域に派遣された張騫が持ち帰り、アジア系ブドウが誕生しました。

10世紀頃、バイキングによりアメリカに伝えられ、17世紀頃、カリフォルニアでヨーロッパブドウを導入し栽培が始まる。19世紀中頃、逆にフランスに移植されたアメリカ種から寄生虫の卵が発見され、フィロクセラ害虫の大きな問題が起きましたが、幾多の困難を乗り越えて、アメリカ種の台木にヨーロッパ種の穂を接ぎ、この病害を克服しました。

日本では、山ブドウ、エビカズラ等の野生類は神代から存在したとする説があり、「古事記」712年によると、いざなみの尊は黄泉醜女に頭の飾りを投げつけると、「乃ち蒲子(エビカズラの実)生りき」と記されています。718年奈良時代に行基菩薩は、中国から渡來したブドウを、諸病防除の薬として山梨県勝沼に植え、その中から後の甲州ブドウが誕生しました。

ブドウの旬は6月から9月。世界で最も広い耕作面積を占め、80%がワイン原料になりますが日本では85%が生食です。ワインの他に生食、ジュース、ジャム、ゼリー、干しブドウに用いられ、ギリシアやインドではブドウの若芽や葉を野菜として利用します。

癒し 盛夏 メニュー ブドウをテーマ

Diner

イベリコ豚と巨峰のテリーヌ

冷製旬魚のカルパッチョ ブドウの雲

活オマール海老の鉄板焼 干ブドウのソース

有機高原野菜のサラダ

厳選黒毛和牛ステーキ・夏野菜焼 添え

鉄板焼蛸のリゾット

Dessert

アレキサンドリアとモストコットのBrulee

珈琲 OR 紅茶

料理長 島田和彦

期間 7月2日(月) ~ 8月4日(土)

料金 ¥13,650(サ・飲物は別)



伊・アンリーの木彫



「バッコ」
ガブディモンテ焼

キリスト教徒ではブドウから造るワインは神の飲物、赤ワインは「キリストの血」とされ聖体制定の必需品です。
教会の修道士達によりブドウの栽培や品種改良が行われました。

『わたしはまことの葡萄の木、天の父は栽培者』 新約聖書・ヨハネによる福音書(第15章)

アンチエイジングを巡る旅

平成十八年十月毎日放送放映より

長寿の地域として知られるウイグル地区トルファンには百歳以上の人が多く住むそうです。その長寿の秘密には、次ぎの理由がありました。

- ①トルファンの人は一日に食べる果物や野菜は一～二kg。この地は干ブドウ市場として、中国各地から買い付け人が集まります。ブドウを食することで食物纖維とビタミンを摂取。ブドウに多く含まれるカリウムは体の塩分を調節し血圧を低く抑え、心臓病を防ぎます。
- ②天山山脈の地層からミネラルを含む雪解け水を摂取。
- ③太陽が強いので朝と夕方だけ働き、昼寝を充分とる。太陽のもとでの労働は体内にビタミンDを摂取する。

ブドウ文様

ブドウは生命と豊穣、歡樂と祝祭のシンボルとされ、古代エジプトでは冥界の王オシリスや古代ギリシアでは酒の神様バッコスにさしがられた植物です。イラン系美術でも聖なる果実として描かれてます。

ローマ時代、神殿のモザイクに葡萄樹は楽園として表現され、葉や実をモティーフにした葡萄唐草の文様が装飾されたものが多くあります。

中国では寺院建築、六朝文化で華麗に展開。隋・唐代に制作された海獸葡萄鏡は正倉院の宝物として有名。

日本の仏教美術にも薬師寺薬師如来像の台座等に美しい葡萄唐草がみられます。江戸時代の工芸や古伊万里の陶器等に里斯と組み合わされて描かれており、当オクソンに飾っている有田焼壺(右の写真)にも葡萄リス文様が見られます。

近年の医学会報告より

●育毛物質

1996年、協和発酵はワイン用のブドウの種子から育毛効果のある物質を発見、マウスを使った実験で効果を確認。

●酸化防止剤

1996年、キッコーマンはブドウの種子から抽出した成分を使った天然の酸化防止剤を開発。この抽出した成分・プロアントシは食品に含まれる油脂やビタミン、色素等の酸化劣化を防ぎ、動脈硬化を抑制する効果も確認。

●傷の回復

2002年、米オハイオ州立大学の研究グループは、ブドウの種の抽出成分に傷を早く治す効果があることを確認。

●ガン抑制物質

米イリノイ大学のジョン・ペズツ博士らの研究グループが1997年1/10日発行の米科学誌サイエンスに発表。世界中の数100の植物を分析。様々な天然物質を抽出し、ガン抑制作用効果をマウスを使った動物実験や培養細胞実験の結果、ブドウの他に、桑の実・ピーナッツ等が含有する「レスベラトロール」と呼ばれる物質にガンを抑える働きを確認。この物質を大量投与するマウス実験では投与18週後にガン細胞が68～98%消滅、毒性はない。

●虫歯予防効果

米イリノイ大学シカゴ校のグループは、干しブドウ等に含まれる酸等の物質に虫歯菌等の口内細菌の増殖を抑える効果を発見。干しブドウには虫歯菌の栄養源となる糖分が含まれないので、食べる事で虫歯予防効果が期待できる。



